

< 整備効果(速報) >

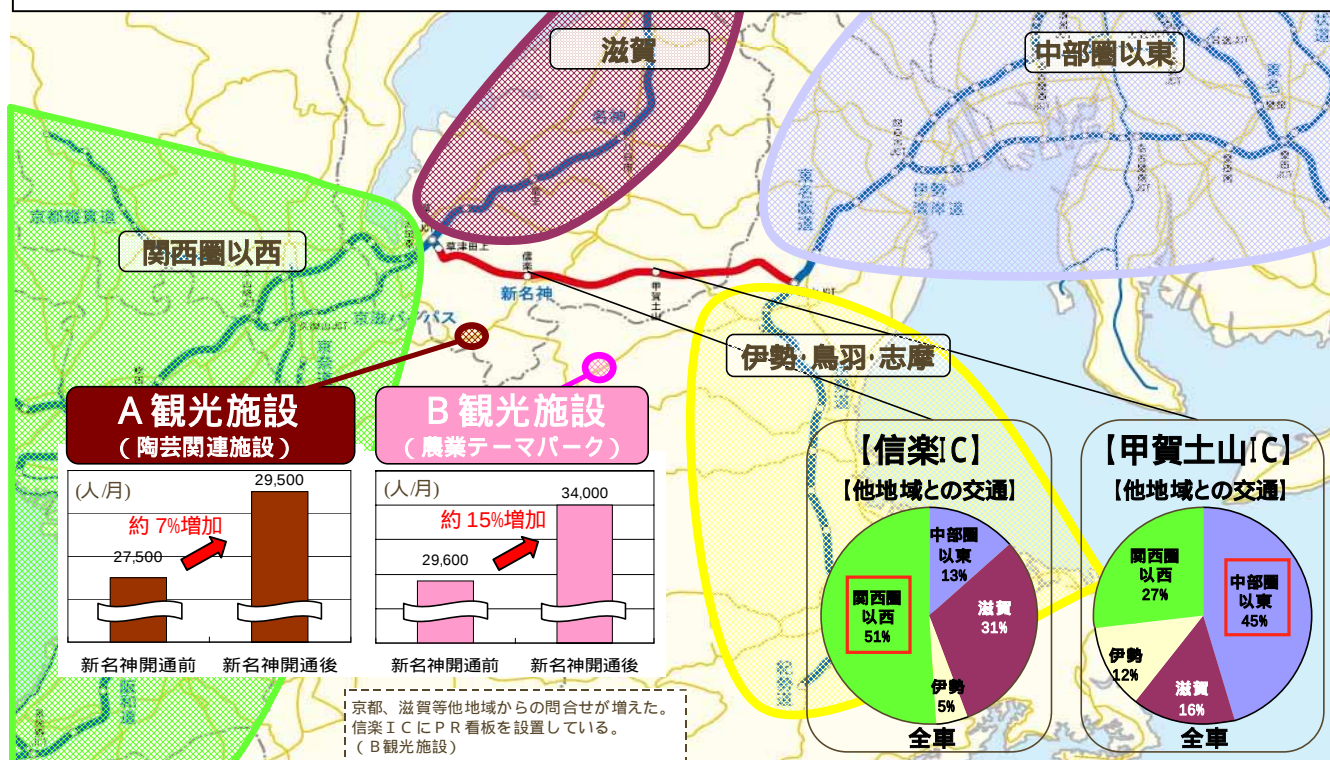
1. 観光活性化への寄与

・一般国道1号・25号を經由していた交通(伊勢関IC利用)の一部が新名神高速道路に転換し、京阪神や滋賀から新名神高速道路を經由して伊勢・鳥羽・志摩方面に行く休日交通は約 5,100 台/日でした。また、京阪神や滋賀からの休日交通は前年と比較すると約 2,700 台/日増加しています。



1. 新名神開通前: 平成 19 年 3 月 1 日(木) ~ 平成 19 年 3 月 31 日(土)の土曜日・日曜日・祝日
新名神開通後: 平成 20 年 3 月 1 日(土) ~ 平成 20 年 3 月 31 日(月)の土曜日・日曜日・祝日

・新名神高速道路開通区間の沿線観光施設の入り込み客数が増加傾向にあることが確認されました。
・新名神高速道路沿線地域(信楽 IC、甲賀土山 IC)は、関西圏以西及び中部圏以東からの利用が多く、新名神高速道路を利用した広域的な交流が活発化しています。

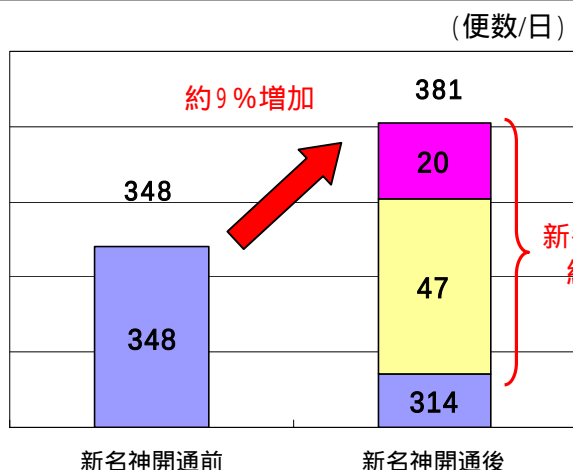


出入交通量は、平成 20 年 3 月 1 日(土)から平成 20 年 3 月 31 日(月)までの日平均出入交通量データを記載

観光入り込み客数は、新名神開通前: 平成 19 年 3 月・4 月の月平均入り込み客数

新名神開通後: 平成 20 年 3 月・4 月の月平均入り込み客数

・新名神高速道路の開通を契機に、2路線20便の高速バスが新設され、8路線47便の高速バスがルートを変更(増便含む)して、新名神高速道路を経由していることが確認されています。新名神高速道路を利用した広域的な交流が活発化しています。



■ 新名神利用(新設)
 ■ 新名神利用(ルート変更・増便含む)
 ■ 名神利用



新名神ルートの方が、時間短縮、燃料経費の節減に効果があります。また、運転手からは走行性が高く、快適であると聞いており、お客様へのサービス向上にも繋がっていることがわかりました。
 (Aバス会社)

新名神開通前：高速バス時刻表 2007 秋・冬号データ

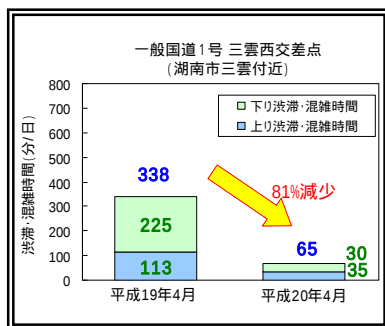
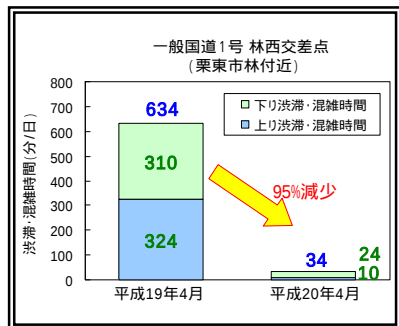
新名神開通後：NEXCO西日本調べ(バス会社への電話ヒアリング)

名神 草津JCT～瀬田東JCTを通過する高速バス路線を対象とする。

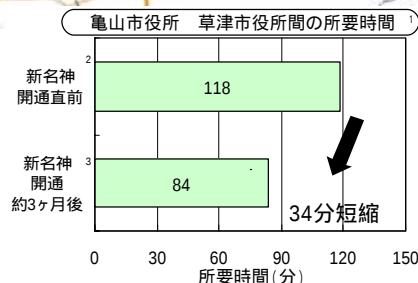
ただし、大阪・京都 新潟、大阪 高山、京都 岐阜県内の路線を除く

2. 一般道路の走行環境の改善

・新名神高速道路に並行する一般国道1号(滋賀県内)では、著しかった渋滞・混雑が概ね解消されました。
 ・一般国道での亀山市役所～草津市役所間(約 60km)の所要時間は、開通前に比べて約30分短縮されていることが確認されました。



資料：(財)日本道路交通情報センター「渋滞情報」の平成19年4月版及び平成20年4月版に基づき集計
 渋滞は時速10km以下とし、混雑は時速10～20kmとしている
 渋滞・混雑時間(分/日)は、1ヶ月間のデータを1日当たりで平均したもの



- 1 所要時間は、実走による計測値。(実走とは、周辺の交通の流れに沿って走行すること)
- 2 新名神開通直前は、平成20年2月19日(火)、2月21日(木)の平均値
- 3 新名神開通約3ヶ月後は、平成20年5月28日(水)

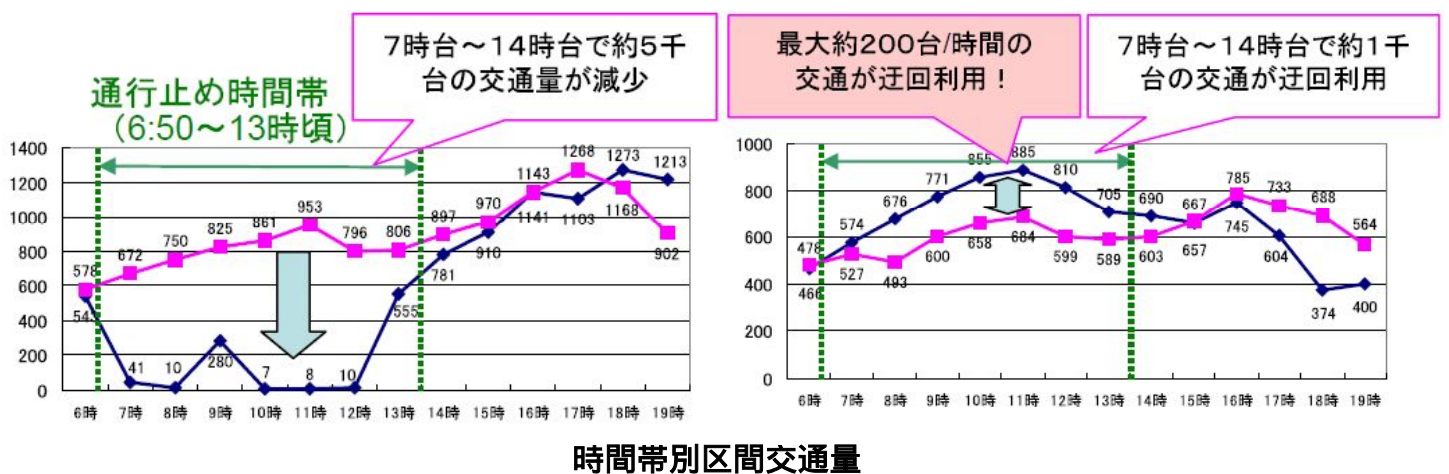
3. 名神高速道路の代替機能の発揮

- ・2008年4月7日(月)明け方に、名神高速道路の関ヶ原IC付近の上り線で事故が発生し、大垣IC～関ヶ原IC間が6:50～13:00の約6時間にわたり通行止めになりました。
- ・通行止めの間、名神高速道路では約5千台の交通量が減少した一方で、新名神高速道路では、約1千台の交通量が増加しており、最大約200台/時間の交通が迂回したものと推測されます。



名神(大垣IC～関ヶ原IC)上り

新名神(甲賀土山IC～亀山JCT)上り



交通量計測装置によるデータを速報値として記載。

◆ 4月7日
■ 4月14日